

患者さん用

成長ホルモン治療を続ける患者さんご家族のための情報誌

# growing

## グローイング

20号記念特別号

特集

〈記念対談〉子どもの成長を応援する  
栄養と料理、食生活のアドバイス



2003 夏号

Lilly

第1回

リレーエッセイ【おとなへの階段】

「続けることの難しさも大切さ」

日本医科大学小児科助教授

大木 由加志



思春期になると、勉強、スポーツ、友達つきあいに忙しく、毎日の注射がおさなりになってしまうことも少なくないようです。そんな思春期の皆さんにぜひ読んでいただきたいのがこのコーナー。小児内分泌の先生方による助言や叱咤激励のことはをシリーズで紹介していきます。まずは、大木由加志先生による、飛び切りユニークなお断りからどうぞ！

8歳から成長ホルモン治療を続けている14歳の兄”あつし君”と、5歳の妹”ゆきちゃん”が、並んで寝ている

- 妹 「オニイチャン、注射した？」
- 兄 「していない。今日はお休み」
- 妹 「ちゃんと打った方がいいよ」
- 兄 「ガキのお前に言われたくない」
- 妹 「ガキだって正しいことは正しいも」と
- 兄 「チビのお前に言われたくない」
- 妹 「年のわりには大きいもん」
- 兄 「お前にオシの苦労がわかるかー」
- 妹 「わかんない。どんな苦労？」
- 兄 「もう6年もずっと注射打ってたぞ。いいかげん嫌になっただよ」
- 妹 「ワタシも5年もずっと」
- 兄 「飯食入ってるけど飽きない」
- 妹 「それとは違っただよ」
- 兄 「ねえ、オニイチャン」
- 妹 「何だよ。もう眠ら」
- 兄 「この間リリーってお姉ちゃんから原稿頼まれたんだ」
- 妹 「原稿？ 5歳のお前にか？」

- 妹 「うん、横谷の進ちゃんも書けばって言っし。それで引き受けちゃった」
- 兄 「なに書くんだ？」
- 妹 「テーマは”おとなへの階段”」
- 兄 「なんだそれ」
- 妹 「思春期に悩めるオニイチャンのことを書こうと思って」
- 兄 「冗談だろ？」
- 妹 「ホント。ところでお兄ちゃん、下の毛生えた？」
- 兄 「キクー！」
- 妹 「この間本で調べたんだ。男の子は11歳半くらいからタマタマが大きくなってきて、それから1年くらいで下の毛が生えてくるんだって。これすなわち思春期の始まり」
- 兄 「お前本当に幼稚園児か？」
- 妹 「うん」
- 兄 「末恐ろしいな。そんなにがんばると燃えつきちゃうぞ」
- 妹 「オニイチャンの場合は骨年齢が2年遅れてるから、もうそろそろかと思っただよ」
- 兄 「骨年齢？ それも本で調べたのか」
- 妹 「この間、病院のヒゲの先生が言ってた。オニイチャン、ちゃんと聞いてなかったでしょう」



リレーエッセイ 【おとなへの階段】

兄 「聞いてねえよ。だいたいお前は何でいつも病院について来るんだ？」

妹 「お兄ちゃんが心配だから」

兄 「お前に心配されたくなんかねえよ」

妹 「土曜日は、幼稚園も休みだし」

兄 「暇つぶしに病院に来るな」

妹 「ママもママ一人じゃ、あの子をもてあます」って言うてたし」

兄 「そんなこと言ってたのか」

妹 「あつ、これ内緒だった。忘れて」

兄 「生涯忘れねえ」

妹 「生えた？」

兄 「チヨボつとな」

妹 「そいじゃあオニイチャン、今一番身長が伸びる時期だよ。ちゃんと注射打たなきゃ」

兄 「ほんとか？」

妹 「二十歳過ぎて、あの頃真面目に打つときや良かったなって思った時は、もう遅い。何を打とうが、もう伸びない」

兄 「グッー」

妹 「お兄ちゃん知ってる？。後悔を先に立たせてあとから見れば、杖をついたり転んだり。っつての」

兄 「どこでそんなことおぼえたんだ？」

妹 「この間の寄席。お兄ちゃん寝てたじゃない」

兄 「寝る子は育つ」

妹 「明るいうち寝ても育たないのー」

兄 「そうか？」

妹 「だいたいオニイチャン、言いたくないけどー」

兄 「じゃあ、言っいな」



大木 由加志 先生

〈先生の似顔絵〉



画・大山郁代さん

皆さーん、ドロップアウトはやめましょーね。

妹 「でも言っちゃう。ただで成長ホルモン打ってるけど、毎月いくらかかってるか知ってる？」

兄 「知らない。いくら？」

妹 「毎月40万から50万」

兄 「うそー」

妹 「パパの月給より高い。それも、もとはといえば国民の税金から出てる」

兄 「ほんと？」

妹 「ほんと」

兄 「それはどこで聞いた？」

妹 「ママがヒゲの先生からもらった資料を読んだ」

兄 「何でも読むんだな。そうか、ちゃんと打たないとばちが当たるか」

妹 「ワタシ、オニイチャンは大きいほうがいいもん」

兄 「そうか？」

妹 「うん」

兄 「わかった。もうあと何年でもないし、かわいい妹のためだ。起きて注射してくるよ」

妹 「妹のためじゃなくて、自分のためでしょー。がんばれ、がんばれ、オニイチャン!!」